



社協だより

「支え合い」・「育成」・「環境」・「安心」明るいまちづくり

発行 社会福祉法人 阿南市社会福祉協議会
阿南市富岡町北通33番地1(阿南ひまわり会館内)
TEL 0884-23-7288 FAX 0884-22-7142
E-mail ananshi-shakyo@palette.plala.or.jp
https://shakyo.ict-tokushima.jp/ananshi/

印刷 太陽高速印刷有限会社

第54回 阿南市社会福祉大会

「明るく 住みよい まちを めざして」

令和4年1月15日(土) 阿南市文化会館夢ホールにおいて、阿南市と阿南市社会福祉協議会の主催で、「第54回阿南市社会福祉大会」を開催しました。

式典では、名誉大会長表彰として長年社会福祉事業に功労のあった1人、大会長表彰として地域福祉活動の推進のために尽力され多大な業績を残された26人と8団体、阿南市成年後見センター愛称最優秀賞1人及び花いっぱいコンクール優良5団体が表彰を受けられました。

その後、富岡地区社会福祉協議会 喜多眞代さんが、大会宣言(案)を朗読、参加者の賛同を得て採択されました。

式典終了後、大高翔さん(俳人・阿南ふるさと大使)に『俳句とふるさと』と題して講演いただき、最後に『わたしの好きなふるさとの風景』をテーマに募集した俳句の入賞12作品の紹介及び講評をいただきました。

ご参加いただきました皆様、大会運営にご理解ご協力くださいました皆様方に心よりお礼申し上げます。



大会宣言
富岡地区社会福祉協議会 喜多 眞代さん



大高 翔さん 記念講演



大高 翔さん コメント

今回の『わたしの好きなふるさとの風景』というテーマの皆さんの句を、楽しみに拝見させていただきました。同じテーマでも、私の知らないふるさが詠まれていて、すごく新鮮で、刺激を受けました。阿南は“光のまち”ですが、“俳句のまち”と言ってもいいと思いました。ふるさとの俳句を詠むことを続けていったら、阿南市の財産になっていくのではないかと感じています。ここにしかない素敵な風景がたくさんあります。素晴らしい俳句を詠んでくださり、本当にありがとうございました。

大会宣言

少子高齢化や急速な人口減少、家族形態の変化などにより、地域における支えあいの重要性が求められるとともに、新型コロナウイルスや近年多発する災害への備えなど、地域社会を取り巻く生活環境は厳しさを増しています。こうした情勢を背景に、社会的孤立、引きこもり、虐待、生活困窮者の増加や避難行動要援者への支援など、複合的な福祉課題・生活課題が顕在化しています。

このことから、高齢者、障がい者、子どもなど、すべての人々が住みなれた地域において、生きがいを共に創り、高め合うことができる「地域共生社会」の実現が提唱され、身近な圏域で、住民が主体的に地域課題を把握し、解決を試みる体制づくりが求められています。

本年度は、住民自らが計画し推進してきた「第2期阿南市地域福祉活動計画」の最終の年であるとともに、「第3期阿南市地域福祉活動計画」を策定する年にあたります。「このころのきずな つないでえがおの たのしいまちに」という基本理念のもと、地域住民及び関係者が、それぞれの得意分野を活かし、「支え手」「受け手」という関係を超越して、お互いに支え合いながら暮らすことができるよう、地域福祉の着実な推進に取り組んでいます。

本日、第54回阿南市社会福祉大会の開催にあたり、市内の福祉関係者が一堂に会し、市民関係機関、行政などが協働して「明るく住みよいまち・阿南」の実現を誓い、決意を新たにするために次のことを宣言します。

一 私たちは、地域の福祉課題・生活課題をより身近に捉え、地域住民が協力し合い、私たちのできることを共に考え、「お互いさま」の支え合いにより、誰もが住み慣れた地域で心豊かに暮らし続けられるまちづくりに努めます。

一 私たちは、いつ身近で起きるかわからない災害の発生時に、速やかに対応できるよう、普段から培ったつながりや、地域の特色を活かした地域主体・住民主体の支援体制を構築し、安全・安心なまちづくりに努めます。